

# 国民のいのちとくらしを守り 経済の自主的・平和的な発展へ



沖繩協定批准反対、安保廃止、アメリカのインドシナ侵略反対、生活防衛、民主主義擁護、佐藤内閣打倒、国会解散(一〇・二二)大牟田地区統一集會、は徳林公園で開催され、いま更にかろうとして大規模な合理化攻撃を目の前に固結を固めている三井東洋化学の労働者を中心に、約三千人の労働者が集まり、佐藤内閣内閣を打倒し、いよいよ緊急課題となってきた「国民の命とくらしを守り、経済の自主的・平和的な発展」

沖繩協定批准反対を叫ぶ、大牟田地区大集會

## 許せぬ沖繩協定批准 国民を結集する闘いを

大牟田集會

### 大会宣言

この日大牟田地区統一集會は次の大会宣言をもって、労働者の決意を明らかにした。

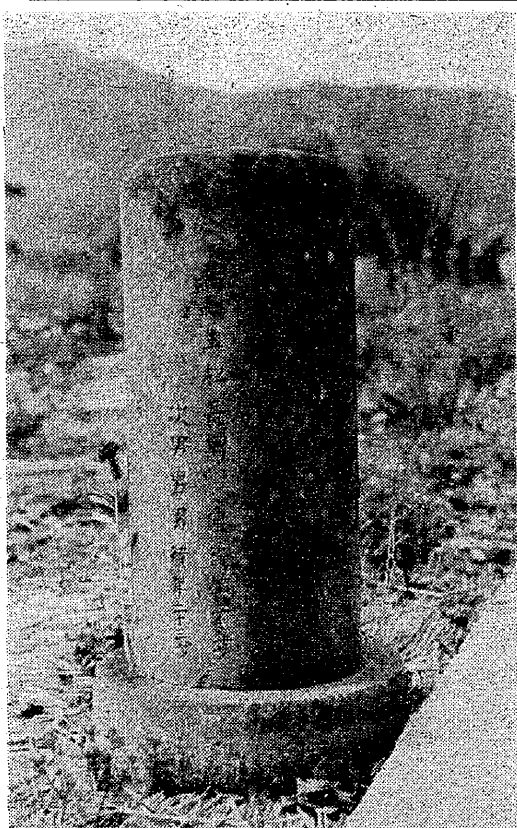
日本の将来をわが沖繩國會議員、佐藤内閣と自民党は、沖繩県民をいかに苦しめ、日米軍事同盟の侵略強化をめざす沖繩協定の批准を強行しようとしている。

## 八度迎える11・9

### 三池は怒りのゼネスト

平和の闘いと一つになって前進

一瞬のうちには四百五十八人の働く仲間を奪い、八百人以上の労働者をとり返すのつかぬCO患者にした三池炭鉱じん大爆発は、同じ日ボツ発した国鉄鶴見駅における列車の三重衝突事故(二百人近くの死亡者)と共に、人命懸境・独占資本一辺倒の自民党政治の基本特徴をさらけだし、全国民を怒りと抗議にふるい立たせたのだ。



11・9大震災の犠牲となつた、溝口兄弟の墓。父親の生松さん、はるかの米富(南関町)に建てられ、はるかに大牟田の空をながめ



発行所  
三池炭鉱労働者組合  
大牟田市不知火町2  
電話 3033 番  
3034 番  
兼行 兼人 兼人 兼人  
兼行 兼人 兼人 兼人  
兼行 兼人 兼人 兼人  
兼行 兼人 兼人 兼人

### 心から交流を

ここの一・九には、全国から青年労働者が三池にやってくる。交流することになっていきますので、暖く迎えます。

組合員の家庭や地域の闘争本部などに泊りこんで、お互いに学び合い、そして連帯を強めて闘いをすすめるというものです。

も意識を回復できないまま、その悲惨な姿を熊大病院のベッドのうえにさらしている、重症患者の宮島重信さん(三十三才)ら、長期傷病補償受給者、の二十六人(うち三池労組員十一人)や、一時経過観察者の六十四人(うち三池労組員四十六人)のほかに、たとえ労災補償を打ち切られたものの、いままなお後遺症に悩まされ、そのうえ非人間的な低賃金生活と闘いながら、三井鉱山が押しつけてきた職場に分かれ分かれ、かろうじてそれぞれの作業をつづけている。

これらのCO患者の中からは、西本正人さんらの十数人の死亡者もあつた。おぼろげに、すべてのCO患者の胸をしめつけている。

一方資本の側の実態はどうかといへば、昭和三十八年の十月、大爆発の前(月)一カ月の出炭額が四十万三千トン(能率四二・九、労働者数九、四〇〇人)だったのに、今年の八月の実績は四十二万八千二百五十六トン(能率七八・〇、労働者数五、四九二人)である。そこに見るのは、気遣いじみの闘いの火の手と一つになって、三千人二万トン体制(日産)の確立で、まさしく三十八年以降に見られる悲惨な犠牲は、まるで

太平洋戦争中におけるアメリカ空軍のじゆうたん爆撃を思わせる合理化による虐殺である、ということができる。

## 11・9行事など決る

### 第四回中央委員会

第四回中央委員会は去る二十四日開催、目前に迫ってきた11・9を避けて開催する「三池炭鉱八周年抗議大集會」の行事計画のほかに、当面の保安闘争の推進に関する炭労指令、労働者財産形成の問題などについて討議した。

## 三池で「団結集會」

### 青年労働者が五百人

「三池と三池」をテーマにして第五回全国青年団結集會が、ここの三池で、しかも11・9の日を包みながら七十九の三日間、わたって開催される。

この集會には全国から約五百人の青年労働者が結集、三池労組の組合員や三池主婦会員との交流を通じて、三池近隣の闘いに立ち上る決意を固める「こと」になっている。

三池労組は中央委員会ですべてに組織的なうけつけを決定、民泊・交流などの準備にはいったが、命を守る三池の闘いの火を全国の職場・地域に広げるためにも、右の集會の成功を強く祈る。

なお、11・9をめぐる問題でも議論が沸騰したが、すでに計画は実施の段階にはいった。(別項記事参照のこと)

一九七一年十月二十一日  
大牟田地区統一集會